

# 令和2年度 事務事業評価(議会) (令和元年度決算)

## 分科会評価結果

分科会名	文教分科会	整理番号	文教-1	
事務事業名	未来自分創造資金			
評価区分 (事務事業の方向性)	1 拡充	2 継続	3 終期設定し終了	4 休止・廃止

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、学校教育法に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校に在学する生徒のうち、学業・人物ともに優秀で、かつ、経済的理由により修学困難な者に対し資金を給付することを目的としている。

子供の貧困対策推進の観点から、意欲と能力のある者が経済状況にかかわらず修学の機会を得られるよう奨学金制度の充実を図るため、平成30年度には、募集定員を25名から50名に増員するとともに、令和元年度から卒業時における給付金額を5万円から10万円に増額するなど、給付型奨学資金制度の拡充を図ってきている。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済への影響について、先行きが不透明な中、今後、経済状況が厳しくなり、本事業に応募する世帯が増加することも十分考えられる。

経済的理由により進学や進級に困難を抱える高校生等について、就学の機会を確保できるように、本事業の一層の充実を図る必要があることから、拡充とした。

